

令和2年度の重点課題

- 新体力テストの総合評価のAB率 30%、DE率20%である。（(AB-DE)率10%）
- 全学年の男女とも、「握力」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 男子は、「立ち幅とび」、「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子は、「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 運動習慣に関するアンケートによると、1日の運動実施時間が、30分未満と回答する児童の割合が、男子で12%、女子で25%と、県平均より高く、運動をしない児童の割合を減らしていく必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「握力(筋力)」を高めるため、体育の授業の導入部分で行うサーキットトレーニングで、鉄棒のぶら下がりを行った。
- 児童が自主的に、跳んだりボールを投げる動きの練習ができるよう、「体力向上支援プログラム」の中から関連する項目を抜き出してラミネート包装し、各クラスに配布した。
- 児童会の体育委員会が主体となって、むかし遊びの「ろくむし」を紹介し、普及を図った。
- 柔軟性を高めるため、家庭でストレッチを行い、保護者がチェックする「柔軟体操記録カード」を作成した。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和2年度)・全国平均値(令和元年度との比較))

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
第5学年	16.54	19.80	32.21	42.54	51.89	9.29	155.92	26.45	55.07	第5学年	16.45	18.93	36.48	40.74	42.81	9.47	149.58	16.23

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
第5学年	16.54	19.80	32.21	42.54	51.89	9.29	155.92	26.45	55.07	第5学年	16.45	18.93	36.48	40.74	42.81	9.47	149.58	16.23

改善計画を作成する8月時点では、ここはblankの状態になっています。

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R3)及び

県の調査結果が公表されるまでは、「R3年度の県調査結果が判明した後、最新の情報を公表します」等の書き込みを行って

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	ややきらい	きらい	女子	好き	やや好き	ややきらい	きらい
第5学年	41	433	103	54	第5学年	35.7	42.1	15.5	6.7

A小学校では、全児童を対象とした学校独自の意識調査を実施した。

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	ややきらい	きらい	女子	好き	やや好き	ややきらい	きらい
第1学年	50.4	38.3	7.3	4	第1学年	48.3	40.1	7.2	4.4
第2学年	48.6	38.8	6.8	5.8	第2学年	46.2	39.9	8.4	5.5
第3学年	47.2	37.3	7.5	5	第3学年	42.6	37.5	11.4	8.5
第4学年	43.7	44.2	8.1	4	第4学年	36.4	41.2	16.3	6.1
第5学年	41	43.3	10.3	5.4	第5学年	35.7	42.1	15.5	6.7
第6学年	40.5	42	11.5	6	第6学年	33.3	40.2	15.7	10.8

★特にここを充実させます↓★!

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が13.6%である。(前年比2.3%↑)
 - ・学年が上がるにつれ、ややきらいと答える児童が増加傾向にある。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が19.4%である。(前年比1.5%↑)
 - ・ややきらい、きらいと答える女子の割合が男子よりも5.8%多い。

体力面での課題

- 男子
 - ・「握力」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子
 - ・「握力」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体
 - ・1日の活動時間が30分未満の児童が18%である。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間通して準備運動(10分~15分)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。
 - ・しっぽとり
 - ・大根抜き
 - ・ロープ相撲
 - ・新聞ボール投げ合戦 等

体育の授業以外で行う取組内容

- ・学校行事として、3月に学年対抗「紙飛行機飛ばし大会」を開催全校朝会の中で、体育委員会が、紙飛行機を遠くに飛ばすコツを教える機会を設ける。
- ・朝休憩で、週1回、「鬼遊び」を学級ごとに実施する。
- ・週に1回、大休憩で、「ドッジボール型ゲーム」を学級ごとに実施する。
- ・オリンピック・パラリンピアン講演会を実施する。
- ・全児童を対象とした意識調査を実施する。

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、男子は6.8%、女子は9.7%にする。
- 1日の活動時間が30分未満の児童を0%にする。
- 「握力」を県平均値以上にする。
- 「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「ボール投げ」については、前回の学年平均値を上回るようにする。(紙飛行機飛ばし大会後、再度、記録を測定)